

News Release

白井光子 & ミハエル・ゲース

Mitsuko Shirai & Michael Gees

ドイツ・リートของタベ

東京公演のお知らせ



息をのむほどに繊細、魂を揺さぶるほどに深遠。

世界が認める日本人リート歌手、**白井光子**。その比類なき歌声は、言葉の奥に潜む感情までも鮮やかに描き出します。そして、リートの本髄を知り尽くした名ピアニスト、**ミハエル・ゲース**。世界中の歌い手を支えてきたその卓越した技が、白井光子の表現にさらなる深みと輝きを与えます。

この秋、松本と東京で実現する奇跡の共演。

ドイツ・リートの本豊かな情感と、お二人の芸術が織りなす極上の空間で、忘れられないひとときを体験ください。

=====梅津時比古氏コメント=====

夢の歌曲デュオ

これは奇蹟である。しかも夢のような！

白井光子（ソプラノ、メゾソプラノ）とミハエル・ゲース（ピアノ）が共演するなどということが考えられようか。それが今夏の8月18日にトッパンホールで実現するのである。

白井を1980年代から日本でもヨーロッパでも聴いているが、常にピアノのハルトムート・ヘルとの歌曲デュオであった。ゲースも2002年の初来日以来、来日ごとに公演を聴いているが、すべてテノールのクリストフ・プレガルディエンとの共演だった。この二組の世界最高の歌曲デュオは共通するものを具えている。歌手は言葉に対する繊細な感覚を持ち、ピアニストが思いも掛けぬ意図を持つ。しかし生み出す魅力は、白井とヘルが世界を限りなく知的に広げるとすれば、プレガルディエンとゲースは世界を夢のような陶酔の渦に巻き込む。両者の魅力を相乗するなど、考えた事もなかった。だが、新たに白井とゲースという最高の歌曲デュオが立ちあられる。

シューベルト、シューマン、ヴォルフなど、二人の魅力が最大に生かされるプログラムが予定されている。

8月18日に旅行を予定している人はすぐにキャンセルしたほうが良い、、、。 By 梅津時比古

===== **東京公演** =====

日時：2025年8月18日（月）17時開演

場所：TOPPAN ホール 東京都文京区水道1丁目3-3

主催：株式会社東京アーティスト

協力：株式会社カインアート

チケット： S席 7,000円（税込） A席 4,000円

チケット取扱：TOPPAN ホールチケットセンター :03-5840-2222

<https://www.toppanhall.com/ticket/>

問い合わせ：株式会社東京アーティスト：03-3440-7571

株式会社カインアート cs@airartcommunity.com 070-2795-3177（月～金 9:00-17:00）

出演：白井光子(メゾソプラノ)、ミハエル・ミハエル・ゲース(ピアノ)

Mitsuko Shirai Mezzo Soprano, Michael Gees piano

曲目： Franz Schubert : Der Winterabend

冬の夕べ

Der Einsame

孤独な男 op41 D.800

Auflösung

消滅

Robert Schumann : Der Nussbaum

くるみの木 (ミルテの花)

Widmung

献呈

Meine Rose

私のばら

Johannes Brahms: Wir wandelten

われらはさまよった

Dein blaues Auge

お前の青い瞳

Wenn du nur zuweilen lächelst

お前がほほえみさえすれば

Hugo Wolf : Die ihr schwebet

しゅろのこずえにただよう天使

An eine Äolsharfe

エオリアンハープに寄せて

Kennst du das Land

ミニヨン「君を知るや南の国」

=====松本公演/Seiji Ozawa Matsumoto Festival=====

日時：2025年8月15日（金）19:00

場所：松本市音楽文化ホール（ザ・ハーモニーホール）

チケット：¥6,000 U-25¥3,000

チケット購入：<https://www.ozawa-festival.com/tickets>

お問合せ：セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

Tel.0263-39-0001(平日 9:00~17:00)

公演詳細：<https://www.ozawa-festival.com/programs/2025/chamber-03.html>

=====

Profile

白井光子,メゾ・ソプラノ

長野県に生まれ、シュトゥットガルト音楽大学で学ぶ。1973年フーゴ・ヴォルフ歌曲コンクール、1974年ロベルト・シューマン・コンクールをはじめ、数多くのコンクールで優勝後、国際的リート歌手として活躍。また、室内楽、宗教曲、管弦楽曲のソリストとして、世界有数のオーケストラ、演奏家との共演も多い。ピアニストのハルトムート・ヘルとは1972年からデュオを組んでおり、日本はもとより世界各地で「歌と伴奏」という概念を超えた「リートデュオ」としての活動を精力的に行ってきた。2006年5月、突然ギラン・バレー症候群に罹り入院。その後リハビリを経て、2008年2月、フランス・ナントにおける「ラ・フォル・ジュルネ」に出演し、シューベルトのリートリサイタルでカムバックを果たした。その後もますます自由な音楽で聴衆を魅了している。後進の指導にも熱心に取り組み、ヘルと共にカールスルーエ音楽大学に「リートデュオ科」を設立。現在はカールスルーエ音楽大学で教える傍ら日本国内および欧米各地でマスタークラスも開講している。1982年シューマンの生地ツヴィカウ市よりシューマン賞を受賞。国内でも、1996年出光音楽大賞、1997年第1回ABC国際音楽賞、2005年度第56回芸術選奨文部科学大臣賞、2008年紫綬褒章、2010年2月にはドイツ連邦共和国功労十字小綬章を受賞した。また、2018年には旭日小綬章を受章、カナダのヴィクトリア大学から名誉教授、Dr.h.c.を授与された。2009年より国立音楽大学招聘教授。

ミハエル・ゲース、ピアノ

「非凡」という言葉は彼の道のりにこそふさわしい言葉なのかも知れない。音楽家の両親のもと、1953年に「音楽の響きあふれる」世界に登場したゲースは、3歳の頃にはすでにピアノがお気に入りのおもちゃだった。

その後、1961年、8歳でハンブルクのスタインウェイ・コンクールおよびザルツブルク・モーツァルトウム給費コンペティション第1位獲得。“神童”として注目を集め、ほどなくして国際的なピアニストとしての活躍を始めるが、才能にあふれた少年には『自由な音楽』への想いは痛いほど強く、15歳の時に学校も家も離れ、ひとり旅に出る。この間、2年間の船上生活も含め、多種多様な仕事を経験した。その後、機会を得てハノーヴァーの音楽大学へ復学、即興演奏や作曲を学び、彼の『自由な音楽』と『音楽の響きあふれる』世界はついに融合した。ウィーン音楽アカデミーおよびデトモルト、ハノーヴァーでさらにピアニストとしての研鑽を積む一方、ジャズや作曲も手がけ、今や、作曲家、ピアニスト、そして類い稀なリート・ピアニストとして世界中で活躍している。なかでも、テノールのクリストフ・プレガルドイエンとは長年にわたり共演、ウイグモアホール（ロンドン）、スカラ座（ミラノ）、カーネギーホール（ニューヨーク）などでリサイタルを行っている。日本では、2002年（東京の夏）音楽祭に参加し、シューベルトの歌曲集《冬の旅》で名伴奏を披露して以来、熱烈なファンも多い。1989年には自宅のあるギルセンキルヒェンにアーティストの集う場を、2001年には「Console Theater」を開設。音楽、演劇、ダンスを通じて、年令も性別も問わない多くの人々が、自身の芸術への想いに気づく場所となっている。また、2009年よりケルン音楽大学で室内楽（声楽）、即興演奏の指導も行っている。

【本件に関する報道についての問合せ】



主催 株式会社東京アーティスト: 108-0074 東京都港区高輪 4-24-41 フェアネス高輪 101
TEL : 03-3440-7571 FAX : 03-3440-7383

<https://tokyoartists.jimdofree.com>

協力 株式会社カインアート:uchikura@airartcommunity.com Tel:+81-70-2795-3177
<https://airartcommunity.com>